

# 青於藍 あい ~藍よりも青く~



2016年10月31日発行 第7号  
発行：福島県立相馬高等学校第1学年

## 様々な道

私が小学生の時でした。日曜日に祖父母の家に行き、何気なく新聞を見ていました。すると小さい囲み記事の中に「相馬市立桜丘小 ふしみゆうき」と書いてあるのを見つけました。囲み記事のタイトルは「僕の夢、私の夢」。当時の私は夢は、列車の運転手になることでした。とにかく列車や鉄道図鑑を見るのが好きで、近所の線路脇で過ぎ去る列車を眺めながら、「いつか自分も列車の運転手になろう!」と思っていました。しかし、小学校の卒業アルバムの将来の夢にはなぜか「社長」と書いていました。



中学生の時は、英語に興味関心があり、将来は英語の教員になることを夢見ていました。しかし、高校に入ると英語が不得意になり、それほど得意ではなかった数学が好きになりました。そこで英語教員の夢を諦め、数学教員になることを夢見るようになりしました。当時、受験勉強のお供はAMラジオ。深夜ラジオを聞いて受験勉強をし、勉強ではなくラジオにはまっていました。夜になると、AMラジオは遠方のラジオ局の電波が飛んでくるため、名古屋や大阪から流れてくる情報に興奮していました。そしていつしかラジオ局のアナウンサーになりたいと思うようになりしました。しかし、子供の頃から親に「公務員になれ!」と刷り込まれてきたため、最終的には教育学部を受験し中学校の数学教員を目指すことになりました。そして大学4年になった頃に高校の教員を目指すことになり、現在に至りました。

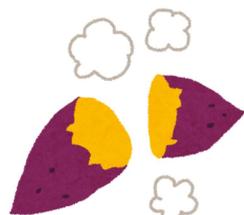
私は教員になったことで、母校で仕事をすることができ、素晴らしい生徒や同僚たちに会うことが出来ました。でも、列車の運転手になっていたら、違う人たちとの出会いが待っていたらうし、いろんなところに行くことが出来ていたでしょう。さらに社長になっていたら、好きだった英語の力を磨き、世界を飛び回るような生活をしていたかもしれない。というわけで、どの進路が正解だったのか?という答えは無いと思います。いろいろな夢や希望に向かって努力し、先に進んでいけば良いのだし、失敗したら違う道を考えれば良いだけだし。ただ、出来るならば極力失敗しないように、万全の体制で臨むべきかなと思います。失敗は怖いですからね。

皆さんには、先日の文理選択の決定後も、これから様々な進路選択が待ち構えています。その都度真剣に考えて、より良い選択が出来るといいですね。そんな悩める生徒の皆さんを陰ながら応援してあげたいと思う今日この頃であります。(4組担任 伏見裕樹)



## 11月の行事予定

- |     |        |                    |
|-----|--------|--------------------|
| 11月 | 1日(火)  | ふくしま教育週間・公開授業(～7日) |
|     | 3日(木)  | 〈文化の日〉             |
|     | 5日(土)  | 全統模試(希望者対象)        |
|     | 8日(火)  | (2学年修学旅行～11日 関西方面) |
|     | 10日(木) | 芋煮会(3校時～)          |
|     | 17日(木) | 2学期期末考査日割発表        |
|     | 23日(水) | 〈勤労感謝の日〉           |
|     | 24日(木) | 2学期期末考査(～29日)      |



## 1・2年PTA合同進路講演会を終えて

去る10月25日(火)、80名を超える保護者が参加し進路講演会が開催されました。講師は進研模試を主催しているベネッセの河野仙一氏です。以下に講演会での話をかいつまんで載せますので、ご家庭での指導にお役立てください。

### ①大学入試をいつ意識するか

大学入試を意識して学習に取り組み始めた時期と合格率の相関関係を見ると、高1の2学期に意識した生徒は97%が合格を果たしたのに対し、高校生が多くが意識し始める2年3学期では65%、部活を引退する3年1学期では37%と大きな差がでます。現1年生を見ると「宿題と朝テストさえ乗り切れば……」と考え、「その日暮らし」の学校生活を送っている生徒が多いように感じます。2年後に泣くか笑うかは、今日1日の、「受験を意識した学習」にかかっています。

### ②全国順位を知ろう

全国には約120万人の同級生がいます。そのうちセンター試験を受ける生徒が約55万人です。模擬試験の結果には必ず全国順位が書かれていますが、生徒自身が自分が今何位くらいなのかを確認することがとても重要です。ちなみに福島大学の合格者における福島県出身者は約4割です。大学受験は浪人生を含む全国の受験生との戦いです。

### ③大学1年生の自分の大学に対する満足度

約4割の大学1年生が自分が入学した大学に不満を持ち、他の大学に入り直したいと考えています。大学・短大・専門学校の中退者の合計は11万6千人を超えます。中退理由の中で最も多いのは「学業不振・無関心」ですが、これは高校時代に何となく進学先を選んできた結果だと言えます。今は学校を選ばなければ全員が進学できる時代ですから、「入りたい学校」ではなく「入れる学校」に入学してしまう学生が多くなります。相高生諸君には、自分が将来就きたい仕事を考えた上で進学先を選んでほしいと思います。

### ④グローバル化が進む社会

日本はかつてない勢いで少子化が進み労働人口が減少しています。一方世界人口は増え続けています。今ある仕事が将来もあるとは限らず、あったとしても内容が変わっていきます。また転職が当たり前の時代になりつつあります。企業のグローバル化が進み、社会人として求められる力も変化しています。これからの社会で活躍するためには、社会人としての基礎力を身に付けた上で自ら学ぶ力を持ち、語学に堪能で、異文化を理解する力を持つ必要があります。世界企業トヨタでは係長になるためにはTOEICで450点以上が必須だそうです。相馬に住んでいるとあまり感じませんが、東京の街を歩くと見た目にもグローバル化が進んでいることを実感します。

社会の変化にあわせ大学も変化していますが、それに併せ大学入試も変化しています。多くの大学が社会に貢献できる学生を集めようとしており、推薦やAO入試では知識を問う問題ではなく、総合的に物事を考える力が問われます。生徒諸君には何のためにどこで学ぶのかを今から真剣に考えてほしいと思います。また、新聞をよく読み今の社会で何が問題となっているかを知ってほしいと思います。「相馬の自分」ではなく、「世界の中の自分」という視点を持たなくてはなりません。

### ⑤一度決めた目標を簡単に諦めるな

生徒の皆さんは夢を叶えるために相馬高校に入学しました。夢は諦めたらそれで終わりです。最後の最後まで歯を食いしばって努力し続ける者が夢を実現し、かりに夢に届かなくても、納得して自分自身の人生を歩むことが出来ます。高校の3年間は自分と向き合い、自分を高める期間です。仲間と共に時には楽しく、時には苦しみを共有して、充実した3年間を送ってほしいと思います。

## 11月10日(木)は芋煮会

2年生が修学旅行中の10日木曜日、3校時から7校時までの時間を使って野外活動(芋煮会)を実施します。場所は旧女子校グラウンドです。かまど用のブロックと薪以外は生徒が自分たちで用意することになります。芋煮に限らず毎年生徒は様々なメニューを考えて作ります。雨天の場合は11日金曜日に順延になります。当日はきれいな秋晴れの空が広がるといいですね。

